

特別助成

1年目

知識の提供・普及啓発

東京五輪競技のセーリングスポーツを通じて、 江ノ島の海と砂浜を“楽しみ、知り、守り、育てる!” 『江ノ島エコリンピック2016』の開催



note by Nominny-465

清掃活動実施中の様子

江ノ島エコリンピック
2016参加者数

217人

えのしま渚連絡会
組成

16人

活動の全体目標に
対する達成度

90%

課題

江ノ島は五輪セーリング競技会場に決定しているが、ごみ投棄、不法漁獲、治安悪化の問題があり、しかも地域住民が無関心で、協議する枠組すら存在しないため、その悪化を助長している。

目標

地域住民が、東京五輪開催により、ここの海に海外の選手たちがたくさん訪れることを自覚し、何か自分たちでできることをしようという動きをスタートすること。

活動内容

東京五輪セーリング競技開催決定を契機に、その競技を地元の砂浜と海で実際に体験し、海を楽しむことを通じて、海を知り、海を守ることを意識付け、今後自分たちで海を育てていく枠組みを作り、参加するよう啓蒙、教育していくことを、地域に住む親子を中心に実践した。



活動後の1グループの成果

達成できなかったこと

- 30名の地域の関係者が具体的な目的意識をもって活動団体に加入すること。
- 告知をさらに強化しなければならなかった。

今後の展望

主要メンバーの数を増やし、東京五輪後も地域に根付いた活動が続けられる基盤の構築をめざす。

成果と工夫した ポイント



成果

『えのしま渚連絡会』の中心的メンバーとして、地域住民、漁業者、マリンスポーツ競技者、愛好家、事業者から16名が集まり組織化できた。

工夫

清掃活動に目的意識を持たせるため素足でスラックラインができるビーチにするとという小さい目標を設定し実施。